



# 一期一会

発行  
株式会社イフ・ジャパン  
編集 営業企画部

〒381-0031  
長野市西尾張部1064-4  
電話 026-243-6808  
Fax 026-243-9122

～はじめに～ こんにちは、編集担当の野田です。毎年、「夏が暑くなっているのでは？」を感じるの私だけでしょうか？部屋の中でも熱中症になってしまう方が増えています。水分補給もしっかりしていきましょう。

## 日本列島に地震・豪雨災害が続く

平成30年6月18日7時58分頃、大阪府北部を震源として震度6弱の揺れを記録しました。地震による死者は大阪府で4人、負傷者は

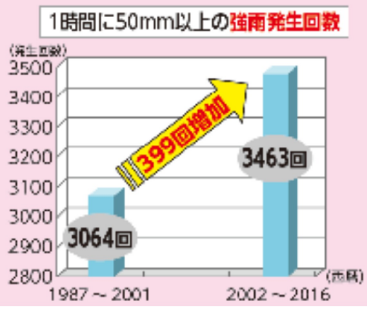
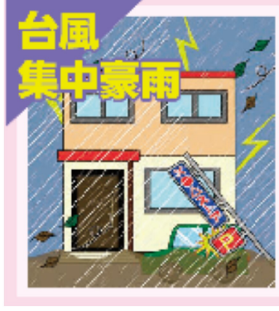
7府県で428人だそうです。また、大阪府のまともによりますと、大阪府内の住宅被害が2万棟を超えることがわかりました。死者が



今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率がかなり高くなっている地域があります。

地点	発生確率
千葉市	85%
横浜市	81%
水戸市	81%
高知市	74%
大阪市	56%

資料:国土交通省「防災白書」  
<http://www.jprts.ktr.go.jp/moc/>



地球温暖化に伴い、突如の豪雨や洪水などの水害が今後とも増えると予測されています。

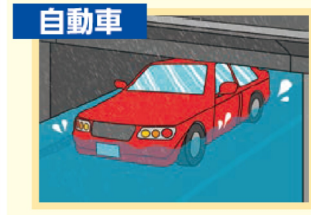
©JAPAN-DA

出た茨木市で約7700棟、高槻市は約5500棟に上り、被害の大きさが目立ちます。総務省消防庁の集計など合わせると、京都、大阪、兵庫、奈良の近畿4府県の住宅被害は計2万1451棟にも上っているようです。損害保険ジャパン(株)の社員も全国から大阪に入り、一日も早いお支払いを目指しております。

上記データは、近年の災害発生回数を表したものです。地震に関するデータは、震度5以上の地震の発生回数と、今後30年以内の震度6弱以上の地震発生確率が高くなっている地域です。地震の影響が残る中、7月9日から西日本を中心に記録的大雨が降りました。気象庁は今回の記録的な大雨の名称を「平成30年7月豪雨」と決め、発表しました。

今回の豪雨で気象庁は、数十年に一度の重大な災害が予想される場合に出す「大雨特別警報」を6日から8日にかけて福岡、佐賀、長崎、広島、岡山、鳥取、京都、兵庫、岐阜、愛媛、高知の11府県で発表し、8日までにすべて解除されたが、2013年に特別警報の運用が始まって以降、一つの災害で4都道府県以上にわたったのは初めてだそうです。

### 水災 土砂崩れによる深刻な被害が増えています



走行中、台風の大雨により浸水！エンジンの取替えが必要に。  
被害額:約170万円



集中豪雨により河川が氾濫。家屋が流され、再建築が必要に。  
被害額:約1,840万円

また、国交省には29道府県から計480件を超える土砂災害が報告されているようです。地震から大切な家を守るには火災保険に地震保険の付帯が必要です。また、水災から守るには車両保険の付帯、家を守るには火災保険に「水災補償」の付帯が必要です。大切な自動車を水災から守るには、車両保険の付帯が必須です。災害対策として、加入されている保険内容のチェックをしてみたいかがでしょうか？